

雪とキャンドルの灯りでアートを描く 盛岡の冬の風物詩「もりおか雪あかり」

雪あかりは、雪像や雪で作ったミニかまくらにろうそくの火を灯したスノーキャンドルで光のアートを作るもの。震災後初の開催となる今回は、「復興祈願・灯そう未来に元気を!」と題し、沿岸地域の復興と交流・鎮魂のイベントとして開催される。特別な開催となる雪あかりに込められた様々な想いを、盛岡市観光課の加藤さんと、盛岡観光コンベンション協会の細川さん、お二人に伺った。

Snow Candle



イベントを彩る雪像やスノーキャンドルはすべて手作り。市内の企業や地域団体、学生、個人参加などボランティアの人達によって、5,000~6,000個ものキャンドルが灯される。

寒い街だからこそ感じられる 「あたたかさ」を感じる冬のイベント

本州で一番寒い県庁所在地としても知られている盛岡市。寒い街だからこそ冬にイベントができないかと、北海道・小樽市の「雪あかりの路」を参考に2005年から始まったのがこの「もりおか雪あかり」。毎年メイン会場になっている盛岡城跡公園に今年はもりおか歴史文化館が加わり、さらに盛岡駅や八幡町、青山町など市内数ヶ所のサブ会場でスノーキャンドルが道路に並べられたり、キャンドルアートが作られ、市内全体が雪あかりのやさしい光で包まれる。電気の光とは違い、どこか温かみがあるキャンドルの光。寒い冬の夜の凧と冷えた空気の中だからこそ、ひとつひとつ灯されたあかりが作る光のアートからは「美しさ」だけではなく「あたたかさ」が感じられるのだろう。



今年のテーマに込められた 復興への想い

メイン会場では毎年テーマに基づいた雪像・キャンドルアートが作られる。今年のテーマは「ジョバンニの希望」。ジョバンニは宮沢賢治の童話「銀河鉄道の夜」の主人公。漁に出たまま長い間戻ってこない父と、病気の母を持つジョバンニが、友人のカムパネルラと銀河鉄道の旅に出かける物語。旅の終わりでカムパネルラと別れ、一人で帰ってきたジョバンニのもとに父からの手紙が届くというところで物語は終わっている。その後の物語をイメージし、父が帰ってくる場面を雪像とキャンドルアートで描くという。「希望に満ちたジョバンニと被災された人々を重ね合わせて、沿岸地域の復興や未来への希望を表現できれば(細川さん)。」その他、細かな細工が施された氷の彫刻や一般参加によるアートコンクールの作品なども見どころだ。

沿岸地域との連携で 更なる支援を

開催中には震災から11ヶ月目となる2月11日を迎える。まさしく鎮魂の光、そして未来への希望の光として灯される今回の雪あかりでは、被災地復興支援交流事業として、沿岸地域の小学生のメッセージが書かれた紙コップでのキャンドルアートや、沿岸事業者を招待して三陸の海産物を振る舞う屋台を出店する他、復興への絆の想いを全国へ発信するため、観光ツアーも企画されている。「サブタイトルでもある『復興祈願・灯そう未来に元気を!』にあるように、雪あかりを通じて沿岸地域と連携して、少しでも経済的な被災地支援になるようにしていきたいですね(加藤さん)。「この雪あかりを盛岡の冬のイベントとして定着させて、観光促進に繋がるようにもって拡大していければと考えています(細川さん)。」寒いからと家にもっているあなたも、今年は雪あかりを見に出かけてみませんか? キャンドルアートの「灯のあたたかさ」だけでなく、色々な人の想いが込められた「心のあたたかさ」など、きっとたくさんの「ぬくもり」が感じられるはず。



ポランティアスタッフ & 雪あかりアートコンクール参加団体

期間中、ご協力いただける「雪あかりボランティアスタッフ」とオリジナル性あふれる雪像やスノーキャンドルを製作するアートコンクールの参加団体を募集しています。詳しくは盛岡市観光課(TEL.019-626-7539)までお問い合わせ下さい。

Data

もりおか雪あかり2012

[点灯時間] 17:00~20:00
[お問い合わせ] 盛岡市観光課 / TEL.019-626-7539
盛岡観光コンベンション協会 / TEL.019-604-3305
<http://hellomorioka.jp/yukiakari/>

メイン会場 盛岡城跡公園・もりおか歴史文化館
サブ会場 盛岡駅前広場・菜園通り・八幡町・中の橋周辺・MOSS・青山駅周辺
東大通商店街(桜山)・岩手県公会堂

期間中限定! あったか屋台も登場!

【櫻山神社 お休み処】
飲食店が出店する屋台。鍋物や温かい飲み物で凍えた身体もほっとひと息。

【三陸復興屋台村(もりおか歴史文化館)】
山田町・大槌町・陸前高田市の飲食店が出店する屋台。カキやラーメンなどが出品予定。三陸の海産物を堪能しよう。

当日参加もOK!

☆メッセージキャンドル販売(盛岡城跡公園)☆
紙コップ(100円)にメッセージを書いて、キャンドルを灯して、雪あかりに参加しよう!
この他、サブ会場でもオリジナルの雪あかりやかまくらなどの雪像が飾られているので各会場を巡ってみてね。

自分でも作って楽しもう!

Snow Candleのつくりかた

- 1** バケツと空き缶を用意しよう。キャンドルを立てる空洞を作るために、バケツの真ん中に空き缶を置く。
- 2** 空き缶のまわりに雪を詰めて押し固める。少しだけ水を入れて凍らせる。均一に押し固めよう。
- 3** 崩れないようにゆっくりバケツをひっくり返して取り出し、空き缶をぬいてキャンドルを置けばできあがり。崩れないように慎重にね。

◎火の取扱いには十分に注意しましょう。小さいお子様は大人と一緒に作ろうね。◎

■タイトルの「で、がんす。」とは… タイトルの「で、がんす」は盛岡弁で「オハヤガンス」(おはようございます)「オバンデガンス」(こんばんは)など、「〜でがんす」という風、ことばの後に使われる言葉です。盛岡では多くの人が解るであろうこの言葉から、親しみやすさを持っていただき、また、一目でローカルな地域情報を発信していることが解るタイトルとしました。一部の年代層をターゲットとするのではなく、多くの年代の方々に見ていただくことを目指しています。